

施設整備等による高品質な抹茶の生産体制構築と輸出市場の新規開拓・拡充

丸七製茶株式会社：R2～R4

ポイント

- 静岡県藤枝市に農産物処理加工施設（仕上げ茶加工施設）等を新設し、てん茶から抹茶への粉末化やインスタント粉末等製品の製造、区分管理が可能な荷受体制を構築することにより、実需者の求める品質の抹茶製品を供給し、新規輸出先の獲得を図る。
- これにより、輸出向け抹茶出荷額及び輸出向け抹茶出荷量の増加を実現。

取組内容

【生産安定効率化】

- 高品質な抹茶生産に向け、棚がけ被覆栽培への転換や被覆栽培に適した品種への改植を推進。

【供給調整】

- 令和4年度に微粉碎機等を備えた農産物処理加工施設が完成。
- 生産履歴や品質に応じて区分保管ができるラック設備を整備。
- これにより、輸出向けを含めた高品質抹茶生産を拡大。

【実需者ニーズ対応】

- 口どけの良さや色鮮やかさ等、実需者から求められる品質に対応するため、常温冷却できる微粉碎機を備えた仕上げ茶加工ラインとインスタント粉末等製造ラインを導入。

支援内容

- 仕上げ茶加工ラインやインスタント粉末等製造ライン等を備えた農産物処理加工施設の整備
- 年間処理能力：155,000kg（1日あたり約302kg増加）
- 加工時間：7.5 時間／日（処理能力：337.5 kg／日）

主な成果

棚がけ被覆栽培への転換等、高品質なてん茶の生産体制が確立されたことにより、高単価のてん茶の安定取引が実現。
鮮やかな緑色で香味の良い高品質な抹茶を求める海外企業が急増。

- 一番茶のうち棚がけ被覆栽培によりてん茶の取引単価が1割増
- 輸出先国を拡大したことにより、輸出向け抹茶出荷額が約1.5倍の増加
（いずれもR1→R4の変化）



新規導入した微粉碎機（ビーズミル）

実施体制

凡例	
	生産
	供給調整
	実需

